

令和 6 年度実践報告者一覧

No	テーマ	発表の概要	報告者
1	生活の中でのリハビリについて	午後の時間にリハビリを行っているが、高齢化にともない、業務の増加、職員不足等で、午後の時間だけではリハビリをやりきれなくなっている。そこで午後の時間だけにとられず、普段の生活の流れの中で無理なくその仲間に適した動作を取り入れ「生活リハビリ」を行っている。一人一人の「生活リハビリ」がどんな思いでどのような目的を持つのか具体例を挙げていく。	社会福祉法人みぬま福祉会 大地 生活支援員・10年6か月 大浦 健一
2	地域の人に幸せを	利用者の方々が製造に携わり、10 種類を超えるカレー弁当を日替わりで地域の方に販売をしております。光栄なことに地域の方にも支持していただいているので、今後も利用者、地域の方に幸せを提供してきたいと思います。	社会福祉法人清心会 ふらわあ事業所 調理員・8年8か月 狩野 真那弥
3	もっと自由に生きたい！ ～グループホームで自分らしい生活を～	45 年間、入所施設で生活されていた利用者さんが、グループホームへ地域移行されたことに関しての報告となります。 初めはグループホームに関して興味がありませんでしたが、職員の声掛け、支援により徐々に興味を示し、グループホーム見学、体験を行う事でグループホームへ行きたいと本人より希望が見られました。グループホーム移行後の課題も見られてきた為、グループホーム職員、互助の里職員で今後の支援について検討していきます。	社会福祉法人久美愛園 障害者支援施設互助の里 支援員・6年8か月 小川 大樹 支援員・6年8か月 島野 真
4	デイサービスに行こう！ ～ライフステージに応じた支援の在り方について考える～	私たちのグループホームでは、後期高齢者の入居者が 2 名います。最近体力の衰えや大きなケガが増え、元々の通所先での仕事に疲れが見られたため、近隣の共生型デイサービスの利用を開始しました。本発表では、この 2 名のこれまでを振り返り、高齢期の方の支援の在り方について考えます。	社会福祉法人ささの会 グループホームほがらかホーム 生活支援員・5年9か月 石井 大地
5	「食べたい!!」気持ちが止まらない ～食へのこだわりが強い利用者さんへの支援について～	食へのこだわりが強く、他者のお金を取って買い物をしたり、コンビニで食べ物を取ってきたりと問題行動を繰り返していた利用者さんへ行った支援について報告します。	社会福祉法人邑元会 しびらきハウス 生活支援員・7年10か月 所 美智子